

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公開番号】特開2003-20348(P2003-20348A)

【公開日】平成15年1月24日(2003.1.24)

【出願番号】特願2001-210420(P2001-210420)

【国際特許分類】

C 08 J	5/18	(2006.01)
B 32 B	15/09	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 L	67/02	(2006.01)

【F I】

C 08 J	5/18	C F D
B 32 B	15/08	1 0 4 A
C 08 K	3/00	
C 08 L	67/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】エチレンテレフタレートを主たる繰返し単位とし、融点が246～270のポリエステル(A)35～70重量%と、ブチレンテレフタレートを主たる繰返し単位とするポリエステル(B)65～30重量%を混合してなるポリエステル層(I)からなるポリエステルフィルムであって、ポリエステル(A)とポリエステル(B)のエステル交換反応率が0.01～2.0%である金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。

【請求項2】ポリエステル層(I)のCOOH末端基量が20～50mmol/kgである請求項1に記載の金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。

【請求項3】請求項1または2に記載のポリエステル層(I)の少なくとも片面に融点が200～245のポリエステル(C)からなるポリエステル層(II)を配置してなる積層フィルムからなる金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。

【請求項4】ポリエステル層(II)がポリエステル層(I)の両側に配置されてなる積層フィルムである請求項3に記載の金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。

【請求項5】ポリエステル層(II)表面の摩擦係数が0.1～0.3である請求項3または4に記載の金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。

【請求項6】ポリエステル層(II)がカルナウバワックスを0.01～1.0重量%含有してなる請求項3～5のいずれかに記載の金属板貼合せ用ポリエステルフィルム。